

平成25年6月3日
総務省
(財)自治体国際化協会

第7回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）は、日本と海外の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的としています。

なお、今年度は、名称を「姉妹自治体交流表彰」から「自治体国際交流表彰」と改称し、姉妹自治体提携に基づく交流のほか、協定に基づく交流など広く対象として募集することとしました。

このたび、次のとおり受賞団体が決定しましたので、お知らせいたします。

1 受賞団体

公益財団法人水戸市国際交流協会（茨城県）、大府市（愛知県）及び周防大島町（山口県）の3団体

2 表彰式

日時 平成25年6月17日（月） 10:00～10:40
場所 ルポール麹町 3階 エメラルド
（東京都千代田区平河町2-4-3 電話 03-3265-5361）

（添付資料）資料1 第7回自治体国際交流表彰 受賞団体の概要
資料2 第7回自治体国際交流表彰の概要

（連絡先）

総務省自治行政局国際室 井戸課長補佐、大橋
電話：03-5253-5527（直通）

FAX：03-5253-5587

自治体国際化協会交流親善課 丸田課長、桜井、清水
電話：03-5213-1723（直通）

FAX：03-5213-1742

資料 1

第 7 回自治体国際交流表彰 受賞団体の概要

○公益財団法人水戸市国際交流協会（茨城県）

交流先	アナハイム市（アメリカ合衆国 カリフォルニア州）
取組概要	○東日本大震災後にアナハイム市民から寄せられた約 1000 通の手紙の展示会の開催等、市民レベルでの交流を促進。 ○震災の経験や防災への取組について情報を共有。

○大府市（愛知県）

交流先	ポート・フィリップ市（オーストラリア連邦 ビクトリア州）
取組概要	○主に環境保護の分野においてユニークな交流を実施。 ・ポート・フィリップ市に生息するペンギンの保護活動のための募金活動 ・同市からの呼びかけを契機とした市民清掃活動の開催

○周防大島町（山口県）

交流先	カウアイ郡（アメリカ合衆国 ハワイ州）
取組概要	○文化、産業、スポーツ等の分野で交流活動を展開。加えて、同郡とのフラダンスを通じた交流を縁として、国内でフラダンスを広めている福島県いわき市とも民間ベースで交流。 ○さらに、いわき市とカウアイ郡の友好協定の締結、周防大島町からいわき市への東日本大震災後の被災者支援を契機として、3都市間交流へ拡大。

(参考) 各都市の位置

○アナハイム市(アメリカ合衆国 カリフォルニア州)



○水戸市(茨城県)



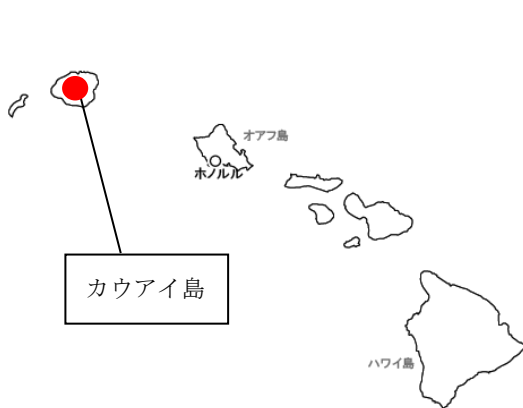
○ポート・フィリップ市
(オーストラリア連邦 ビクトリア州)



○大府市(愛知県)



○カウアイ郡(アメリカ合衆国 ハワイ州)



○周防大島町(山口県)



資料 2

第 7 回自治体国際交流表彰の概要

1 主催

総務省、財団法人自治体国際化協会

2 表彰団体

日本の自治体と海外の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県
- (2) 市区町村（政令指定都市を含む。）
- (3) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

3 賞の種類及び表彰団体数

総務大臣賞 3 団体以内

4 審査基準

次の(1)～(6)の各項目を基準とする。

- (1) 先進性 他模範となる先進的な取組 等
- (2) 独自性 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等
- (3) 継続性 活動の継続、効果や実績の定着 等
- (4) 活発性 活動内容の充実の度合い、頻度 等
- (5) 協働性・連携性 行政と住民との協働、連携 等
- (6) 効果 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等

5 選考方法

応募のあった団体及び、都道府県及び政令指定都市から推薦のあった団体について、有識者等で構成する審査委員会（別紙）の審査を経て、総務省と自治体国際化協会が決定する。

第7回自治体国際交流表彰審査委員会委員

平成25年3月31日時点

委員長	ナカムラ アキラ 中邨 章	明治大学政治経済学部 名誉教授
委員長代理	エノキダ カツトシ 榎田 勝利	愛知淑徳大学交流文化学部 教授
委員	アリタ ミチヨ 有田 典代	国際文化交流協会 事務局長
委員	クドウ ヒロコ 工藤 裕子	中央大学法学部 教授
委員	コウ イ 孔 怡	株式会社天怡 代表取締役
委員	シラサキ テツヤ 白崎 徹也	財団法人自治体国際化協会 常務理事
委員	タカダ ヒロフミ 高田 寛文	財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 学長
委員	メンジュ トシヒロ 毛受 敏浩	公益財団法人 日本国際交流センター チーフ・プログラム・オフィサー
委員	ヤマコシ ノブコ 山越 伸子	総務省自治行政局国際室 室長